

マルワリードⅡ水路工事先端、終点に到着 カマ第二堰に全力 河川水の異常減少の中、斜め堰は健在

曇り空が断続的にやって来るようになりましたが、再び雨がありません。せっかく降った高山の雪も薄くなっています。今年は全体に暖冬ですが、冬至が近づいてくるとさすがに寒いです。川の音を聞きながら毎日が過ぎていきます。

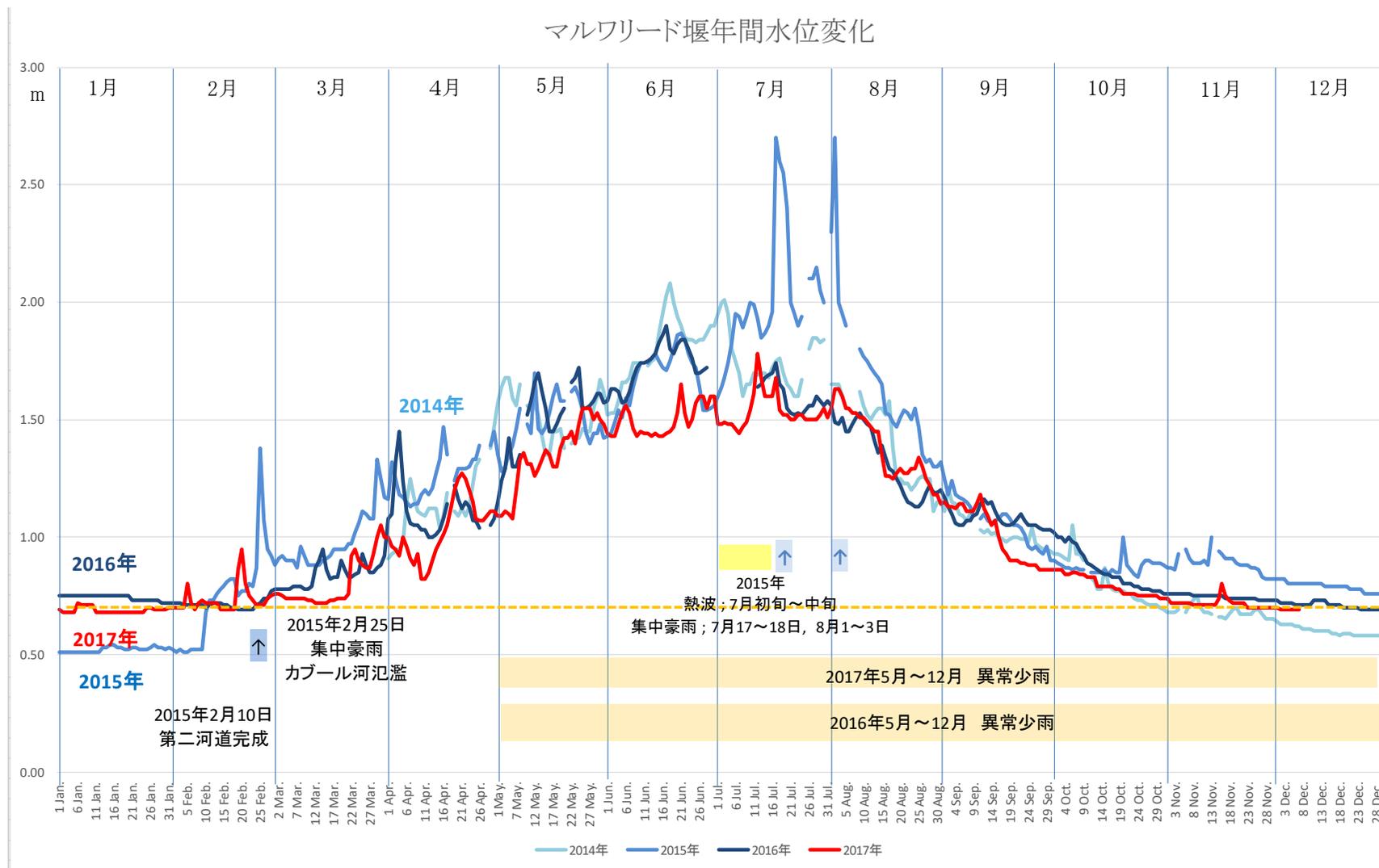
マルワリードⅡの主幹水路の工事先端が本日、終点に到着しました！あとは時間の問題で、側壁の籠組みが600m、最終仕上げのコーナー充填が800m、それぞれ後を追いかけています。全域灌漑を12月中に目指していましたが、疲労の色濃く、ペースを落としています。4km以上に伸び切った作業地の管理は大変で、ファヒム技師・アジズ先生以下の奮闘にもかかわらず、やはりここはカマ第二堰を緊急とし、戦力を温存する方針にしました。「年度内に目標達成」とします。

絶対に時間の調整が出来ないのは、河の工事です。カマ第二堰では、着工の遅れが響いてきて悪戦苦闘、2月下旬に増水が始まれば、一発でダメになります。現在工事現場は、専ら古参職員をはりつけ、全体の細かい指揮を自分で執っています。刻々と変わる水の状態に応じて臨機応変、工事の速やかな進行で遅れを取り戻そうとしています。それでも、2月下旬よりは早まりません。真剣さを欠く技師を現場から退去させました。

ジャララバード事務所も公的な書類業務に追われています。法やマニュアルの整備ばかりが進み、実態が空転する現実があります。事務量を減らし、現場に集中できるよう配慮していきます。

2017年12月12日 記

マルワリード堰年間水位変化。全体に例年より低く、9月から急速に下がったが、次第に下降速度が鈍化、11月から平年並みを維持している。ただし、河川水量は落ち続けている。



マルワリードIIも急ピッチで進められている。調節池IIIの現在。2017年12月6日



調節池III/沈砂池

調節池Ⅲの下流側。2017年12月6日



調節池Ⅲの上流側。サイフォン設置と排水路1の流路回復工事。2017年12月6日



サイフォン工事近景。最後の詰め。2017年12月12日



用水路 4 km地点付近。堤防のかさ上げと拡張が行われて、洪水時の不安が少なくなっている。2017年12月12日



堤防 4.5 km地点以下の川の変化。水制沿いに著しい河床低下が起き、川側に砂州が発生している。高水位時の水位も劇的に下がり、決壊の危険性はひとまず遠のいたと見ている。2017年12月6日



2016年2月、しめきり堤設置直後の水位と比較して下さい。天端の高さが水面から1.5mで、しかも冬の低水位期。最も危惧された地点だったが、その後のかさ上げと拡張だけでなく、主には河床低下によって、溢水と決壊の不安が遠のいている。2016年2月26日



安定水位を保つカチャラ堰（マルワリードⅡ堰）。ダラエヌールの雪が薄くなり、河川水の異常減少は続いている。2017年12月6日

